

目標

- 神経診察・解剖学的診断のスキルアップ
- POS, CQ, 文献検索, 患者さんへの適応の完全マスター
- 神経内科外来での多数症例の経験

具体的な実習方法

- Student physician として, 主治医チームに配属する. チームの一員として診療に積極的に加わってほしい.
- また 4 週間で 1 回, ジャーナルクラブ (抄読会) での発表を行う.
- 担当患者さんのみでなく, チームの症例について朝のカンファレンスで, 新入院症例および継続入院症例のプレゼンを積極的に行なう. また神経診察をどんどん行なう.
- 朝のカンファレンスのあと, 実習の進め方や症例について質問があれば下畑に相談する. また指導医にも毎日最低 1 度はコンタクトをとり, 指導を受ける.
- 週 2 回, 火曜日, 水曜日に下畑, 木村外来にて実習を行なう.
- 神経内科の検査 (髄液穿刺, 電気生理検査) に参加する (病棟医は, 朝のカンファレンス等で本人に検査予定を伝える). 採血や髄液検査も主治医とともに行う (主治医が事前に評価し, 手順を十分に理解していると判断した場合に限る).
- 空き時間を利用して, 解剖学的診断問題集 (当科版) を 4 週間でマスターする.